

新年、あけましておめでとうございます

2020(令和2)年 元旦

再び、歓待の海へ

— 新年寸感 —

山田 勘一

更生保護法人ウィズ広島 理事長

静かに回る、巨大なメリーゴーランドのように、2020年の新春は訪れました。世は東京五輪、IR(統合型リゾート)など不確かな要素を抱えながらも、時は確実に刻んでいきます。私たちの周りもまた同じように高齢、身体、知的に、そしてさまざまな発達障害などで悩む施設利用者が増え、不安のうちに不確かな今を生きています。

人は、自分に都合よい情報を探して解釈し判断する傾向があり、頭のよい人ほどそうだと最近の認知神経科学の研究結果はいいます。人は、一見、科学的根拠にもとづいて冷静に判断しているようでも無意識の偏見、思い込みで判断する…。こわい例で考えてみましょう。矯正施設を出たい人が、Aという更生保護施設を希望したが拒否される。その判断に至る無意識の偏見が、更生保護施設の側にあるとすれば…(どう思います?)。そのとき必要なのは、「私」の思いを離れ、もう一人の「私」の眼で見る力でしょう。

今、施設のなかを見ると、高齢、さまざまな障害などで自ら悩み、ま

た周りの利用者や職員をも悩ませる施設利用者が増えています。でも人はなぜ、自分と異なる人々を、あれこれ理由をつけて(無意識に)排除しようとするのか、その現実を前に、ウィズ広島は個々の重度障害者のニーズを介助するパーソナルアシスタンスの実践に学び、一人でも多くの補導関係職員、いや権威意識を脱ぎ捨ててヘルパー、「助け人」と自認するスタッフを増やし、少しでも多くの施設利用者等のパーソナルニーズに応じていきたいと考えます(でも更生保護施設って、利用者にもっと毅然と関わる必要ない? う〜ん)。それともう一つ、今年、課題とするのは、利用者の声を聴き、眼で見、それを施設の側に伝えるボランティア・アドボケート、ピア・アドボケートの存在、これら他者の眼が、ほどよく刺激し合う関係をウィズ広島にもたらし、惰性に流れやすい施設の日常を変えるように思うからです。

1990年代はじめ、ウィズ広島が再出発の理念としたのは、「犯罪はしたけれども、もう一度チャンスが欲しいという1枚の切符さえあれば、だれをも排除しない、自由駅(フリーステーション)、そして節度ある歓待(ホスピタリティ)」でした。それから27年後の今、社会的にだれをも排除しない包摂の海へ、ウィズ広島は、再び強く舵取りしたいと思います。

こそことし
「去年今年貫く棒の如きもの」
高浜虚子、今年もよろしくご支援をお願いいたします。

2020.1.1



まだ不安も残るが、少しでも希望が見えてくると期待を込めて正月を迎えるころが生まれた。
コラージュ作品「お正月を写そう」75歳男性

利用者の受入れ回復。

2019(令和元)年度 上半期(平31.4～令和.9)連結事業成績の状況

◆利用者人数

令和元年度上半期に宿泊した利用者の実人員は、前年同期に比べ13人増え114人でした。その内訳は、仮釈放者、執行猶予を受けている救護・援護者が92人(うち女性27人)、刑が終了した人など更生緊急保護者が21人(うち女性3人)でした。

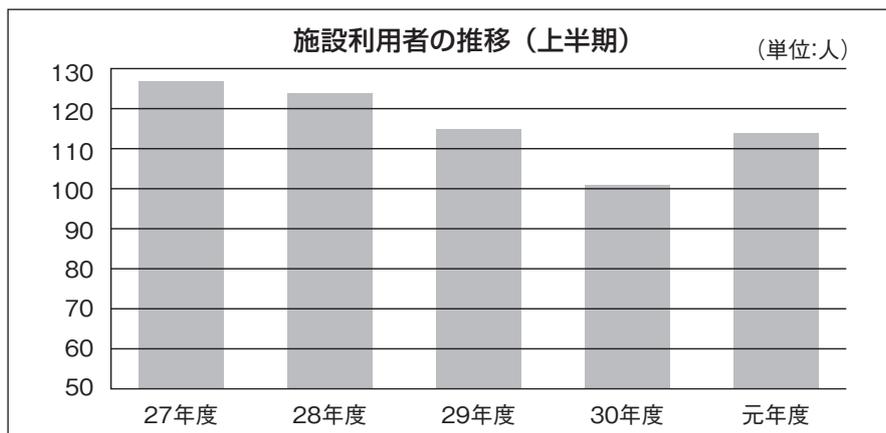
単位：人

上半期年度	救護・援護者	更生緊急保護者	任意保護者	合計数
27年度	108	15	4	127
28年度	115	7	2	124
29年度	105	10	0	115
30年度	82	19	0	101
元年度	92	21	1	114

*救護・援護者とは、仮釈放などで保護観察中の人

*更生緊急保護者とは、満期釈放者、起訴猶予者等

*任意保護者とは、ウィズ広島が任意に保護する人



人事異動

(退任) 令和元年9月27日、久保加代子評議員が逝去されました。氏は平成24年に評議員に就任され、以来広島県更生保護女性連盟副会長、安佐南地区更生保護女性会長として、ウィズ広島の運営に多大なご尽力を賜りました。ご冥福をお祈りいたします。

(新任) 令和元年8月30日、高木一之氏が理事に就任されました。
令和元年8月29日、曾川恵二氏が評議員に就任されました。

■ウィズ広島役員等

【顧問】浅尾宰正

【参与】永田雅紀

【理事】山田勘一(理事長)、山田一夫(副理事長)、畠山昭雄(常務理事)、

嘉屋進(常務理事)、織建末子、

中島和雄、和泉真、林千秋、

藤島秀孝、古屋由利子、高木一之

【監事】柳原芳樹、随行克之

【評議員】慶徳こずえ、木本正志、

井町重遠、山本隆照、繁政秀子、

平口さとみ、楠本次子、大野宣江、
新宅典明、西田志都枝、内海幸一、
石森雄一郎、岸本三悦子、加用雅愛、
曾川恵二

■ウィズ広島職員

【施設長】稲垣 宏

【事務長】小根森敬子

【補導主任】竹岡靖宏、藤原一喜

【補導員】田中博敏、沖村和夫

【福祉専門員】岡本進佑、鹿嶋知之、
松尾能子

【薬物専門員】野澤 忍、高杉敬一、
田坂典子

【事務員】玉井信子

【調理主任】吉和栄枝

【調理員】江藤民子

【非常勤】吉和真奈美

今後、緩やかに右肩あがりをめざす。

2019(令和元)年度 上半期(平31.4～令和.9)連結収支(一般会計と特別会計合算)の状況

収入 5,764 万円 支出 5,260 万円 繰越金 504 万円

◆収入

令和元年度上半期の連結収支の状況は、前年度上半期と比べて、収入総額で4.3%、257万円減りました。

この要因は、別館女性居室棟増築工事のため、収益事業の駐車場賃貸17台がすべて使用できなくなったこと、篤志者寄付が女性居室棟増築への指定寄付を特別会計へ移管したため101万円減少となったことにあります。

◆支出

連結の支出は、前年同期に比べ1.8%、98万円減りました。その要因は、水道光熱費、備品補修費、消耗品費等が減少したことにあります。

単位：万円

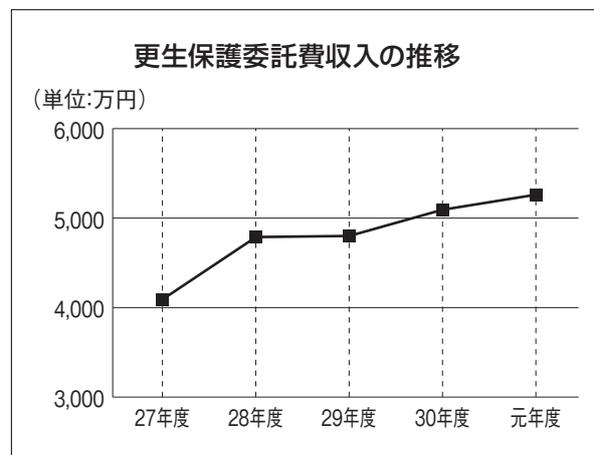
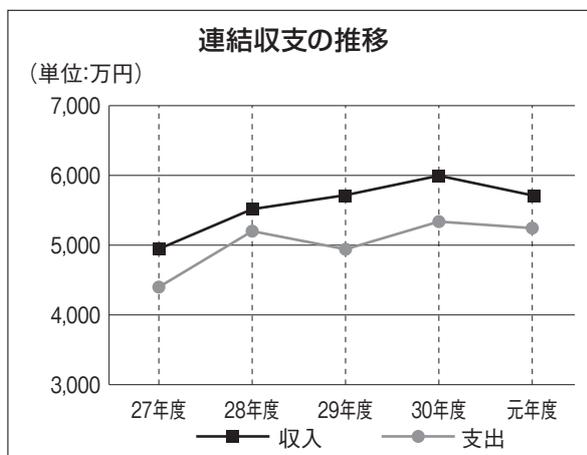
年度(上半期)	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
収入	4,937	5,629	5,789	6,021	5,764
支出	4,403	5,211	4,957	5,358	5,260

◆更生保護委託費収入の推移

単位：万円

年度(上半期)	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
収入	4,145	4,750	4,761	5,104	5,235

更生保護委託費は、前年同期に比べ2.6%、131万円増えました。これは、利用者実人員が増えたこと、委託費単価改定及び福祉職員配置分にかかる委託事務費増等により、前年同期に比べ131万円増えました。



写真で振り返る別館女性居室棟増築工事から現在まで。

ウィズ広島は、別館女性居室棟建設を確かなものにするべく、着実に工事定例会議を重ね、今春の完成に向けて動いています。別館女性居室棟の居室こそ本館居室と同じ規格ですが、ほかには狭いながらも「こんな居場所を作ってくれてありがとう」といわれるような居住空間にしたいと食堂兼談話室は、1人食卓、3人食卓椅子、デッキ、利用者間の軋轢を避けるためのシェルター、そのそばに補導関係職員2人が常駐するスタッフステーション。3階には、居室のほか洗濯場、物干し場など配置します。



- ❶ 2019年 8月29日 安全祈願祭(森脇宮司)
- ❷ 2019年 8月29日 クワ入れ式(山田理事長)
- ❸ 2019年 9月 4日 工事定例会(月2回の工事打合せ)
- ❹ 2019年10月11日 杭打ち工事(19本)
- ❺ 2019年10月18日 1階基礎
- ❻ 2019年12月10日 足場組立

薬物依存症 回復への道

専門員 野澤 忍

当施設が薬物処遇重点実施施設に指定され、4年が経過しました。開始当初は、知識不足を痛感して、薬物依存症の本を買いあさり、専門医の研修会にも積極的に参加しました。しかし、何をやっても自分の中で腑に落ちず、納得いくプログラムができませんでした。突破口になったのは、助言者として参加していただいている県精神保健福祉センター専門職員の一言。それは「当事者から学ぶ」姿勢の大切さでした。これが、参加者との協働な関係を作る助けとなりました。今では参加者や関係機関の人々、薬物依存症支援の依存症だと言われるくらい、日々楽しくプログラムに取り組んでいます。

当施設のワークブック「HIMARRP」は、認知行動療法的なものを目指します。薬物使用に至ったプロセスを振り返り、どんな時に薬物に対する欲求が生じやすいか、何が一番引き金となっ

たかを話し合うことで、それらの参加者の発言に気付いて自らをコントロールし、修正する対処法をグループで学んでいきます。

最近、特に印象に残ったことは、利用者Aさんは同じ利用者Bさんと先輩後輩の仲で、毎週真面目にプログラムに参加していましたが、Bさんが在所期間中に再使用し、逮捕されました。私は心の中でAさんは、もうプログラムには参加しないだろうと思っていましたが、それは杞憂でした。Aさんは誰よりも早くプログラムに参加し、無力感や怒りの感情など、涙交じりに語り尽くしました。Aさんの退所日、修了証を手にし、Bさんが出所する日まで支えていくと決意を述べました。Aさんは、今後も当施設のプログラムに参加したいと希望しており、引き続きフォローアップ支援をしていきたいと思っています。

薬物の欲求や衝動をなだらかに

さめていくには、その欲求や衝動を言葉として出すと、その欲求などがおさまるといふ脳のメカニズムがあります。我慢すればする程、逆に暴走してしまいます。自分の感情を正直に言葉に出すことが大切です。

私はこれまで数多くの薬物当事者と出会い、プログラムの中で共に沢山学びました。その中で、「人は必ず立ち直れる、依存から回復できる」という信念を強く持ちます。これからもこの信念を持って日々支援に取り組みで参りたいと思います。



広島県立総合精神保健福祉センター
松岡明子専門員(写真中央)との
「ひま〜ぷカフェ」

ロスフード抱えた、福の神が飛んできた！

国連総会で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」の実現があらゆる分野で課題になっていますが、わが国でも今年5月成立した「食品ロス削減推進法」以来、食品ロス活動に弾みがついています。

岡山県津山在住の保護司でもある、藤本晴男さん。「更生保護施設等支援協議会専務理事」の名刺をもってウィズ広島に飛び込んでこられました。「フードバンク活動を展開している。あなたの施設でロス食品は活用しないか？」というものでした。大歓迎！パン食の朝、用意している牛乳もいいが、持参された、「緑が濃い、丸美屋のほうれん草スープ」「スパイシートマトスープ」などいろんな食べ物、飲み物が提供できるといい！

賞味期限が迫っているなら毎日顔を出す退所者にプレゼントすればいい。何よりも、抹茶カフェ、えーぞうカフェにつづく、ウィズカフェの目玉商品にしたい。例えばいろんなスープと合わせてロスフードのなかにインスタントカレーがあれば、カレーライスも提供できる「おにぎりカフェ」など。昼飯を食べないでウィズカフェにくる退所者のことを思うと、コーヒーもいい、3～4回もお変わりする顔を見ると抹茶もいい。でも費用をかけるには、コンビニなどのロスフード！のことが私の頭をかすめていた頃のことでした。ウィズ広島にとって藤本晴男さんは福の神です。

そうして4日経った今日、福の神から電話がありました。「隔週、提供で

きる。紹介するので、その店に受け取りに行ってもらいたい。二兎を追うものは一兎も得ずといいますが、いろんな特徴のあるカフェが開けるし、「持続可能な開発目標(SDGs)」の実現へのささやかなウィズ広島の社会貢献だ。これからどう展開していくのか、楽しみです。藤本晴男さん、ありがとう！



福の神：更生保護施設等支援協議会専務理事 藤本晴男さん持参のロス食品の一部

特集 進化する、ウィズカフェ

専門員 高杉 敬一



カフェを運営するなかで、いろいろな問題点がありました。飲酒された方の来所、当施設と関係ないホームレスの人がOBと一緒に来所されたことです。理事長いわく、「ホームレスの人でもよいではないか」と。また、月ごとの季節感をだすことに工夫して、例えば6月なら、「さつき・カフェ」というように月々のテーマを考えました。そのうち、私も想像しなかった展

開が起こりました。現在は、退所されたOGが積極的に勤務日を変更してカフェの手伝いをしたいという申し出があり、看板書きやお菓子などのセット、会場の手伝いをしてもらっています。また、OBたちは進んで会場の片付けを手伝っています。

そのようなカフェ運営を検討するために2か月に1回ワーキングランチをとりながらカフェ会議を開催して、

2か月のカフェを振り返り、少しずつですが進歩しています。

前回来なかった人に手作りカードを書き、よかったら「届けてあげたい」「主宰者がえ〜ぞうカフェ」のはじめに、「感動した点を語り伝えるほうがいい」（ボランティア発言）など毎回、よい収穫があるのがカフェ活動仲間の特徴です。

「え〜ぞうカフェ」を企画したわけ^{わけ}理由

補導員 沖村 和夫

高杉補導員が主宰ウィズカフェは、土井ボランティア活動の「抹茶カフェ」である。いくつかの飾り立てた円形テーブルに参加者やボランティア、職員が座り、ざっくばらんに交話する。それはテーブルごとに利用者やOB・OGの悩み相談であったり、たあいもない会話である。その心配事や不安な気持ちの解消になればというのが「え〜ぞうカフェ」の目標である。それは「愛」…。大いなる愛を目指す。利用者の方々、OB、OGの方々とは大い

なる「和」の中にあって、円=縁でつながっているのだと思う。その縁を大切にしたい。という思いの会にしたいと考えている。そして、甦らせたい。

私には撮りためたブルーレイディスクが多数あり、その中に「愛」を目指すものが沢山ある。それをみんなで鑑賞して、みんなで話し合いたい。そして感じてほしい。人としてどう生きるのか、生き方を見つめ直してほしい…。そして変化につながり、再犯をしないという気持ちになればと願っている。



え〜ぞうカフェ始まる！
白倉ボランティア(左)沖村補導員(右)

寄付で振り返るウィズ広島

2019 (令和元) 年6月1日から12月31日までに、皆様からお預かりしたご寄付は、次のとおりです。



6月

匿名：女性衣類16点・帽子4点・靴2点ほか、西信勝利：女性衣類200点・肌着7点・傘3本・靴20点ほか、広陵西組仏教婦人会連盟：現金10万円 (写真①)、広島紅葉ライオンズクラブ：タオル39枚・靴8足・ティッシュ19箱・布

生菓子 (ウィズカフェ用)、安佐南地区更生保護女性会：給食材料 (写真②)、平口さとみ：サラダ菜・バナナ11房、廿日市地区廿日市支部更生保護女性会：現金16,000円・給食材料 (写真③)、妙覚寺慈光会：現金5,000円、匿名：文庫

団2枚・衣類50点・インスタントコーヒー5本ほか、西村義信：寝具8点・衣類71点・靴7点・靴7足ほか、土井壽美子：現金5,000円 (レクリエーション用)・抹茶・菓子 (ウィズカフェ用)、佐藤丈倫：

本6冊、安田朝一：ジュース132本・カップラーメン5個 (レクリエーション用)

7月

西 博：現金2,000円、島山昭雄：現金10,000円、(株) FORESTA：現金100,000円、藤原薩子：洗濯洗剤7個・きゅうり5本・かぼちゃ1個・モロッコ豆550g・プチトマト800g、土井壽美子：抹茶・菓子 (ウィズカフェ用)、(有) ユピテル：大根8本、木本正志：アイスキャンディ24本、安佐北地区更生保護女性会：給食材料 (写真④)、原田慧子：じゃがいも3kg・人参10本・卵10個・きゅうり10本ほか、竹本絹恵：玉ねぎ1.7kg・ミニトマト70個・ナッツ2袋ほか、川本玲子：玉ねぎ1.8kg、藤原哲子：福神漬2kg、大竹地区更生保護女性会：現金32,000円・給食材料 (写真⑤)



① 広陵西組仏教婦人会連盟秋田幸子委員長からダーナ献金を贈られる島山常務理事 ② ちらし寿司、豚肉のしょうが焼き、ナスの田楽等のごちそうを作られた安佐南更生保護女性会のみなさん ③ 煮こみハンバーグ、野菜サラダ、茄子の煮びたし等の料理を出された廿日市市地区更生保護女性会廿日市支部のみなさん ④ カレーライス、豚かつ、サラダ等を作られ笑顔の安佐北地区更生保護女性会のみなさん ⑤ 料理は、ちらし寿司、鶏ササミの甘辛煮等作っていただいた大竹地区更生保護女性会のみなさん

託されたご寄付、



山報恩会法務大臣感謝状(写真⑦)、広島紅葉ライオンズクラブ: テレビ、炊飯器等(写真⑧)、中地区更生保護女性会: 現金120,000円(愛のたより)(写真⑨)、東地区更生保護女性会: 現金115,000円(愛のたより)、

ズカフェ用)、西地区更生保護女性会: 玄米30kg、匿名: ボディウォッシュ2点・書籍62冊・衣類10点ほか、黒木至美: 米20kg、(一社)若草プロジェクト: 女性衣類: 女性衣類35点、タクトプリントメディア: コピー用紙500枚、土井壽美子: 抹茶・菓子(ウィズカフェ用)、広島佐伯地区更生保護女性会: 現金953円・給食材料(写真⑩)、畠山昭雄: 現金10,000円、福山地区更生保護女性会: 現金50,000円、匿名: 女性衣類22点・靴下2点

8月

匿名: 女性衣類53点、綿貫昌芳: タオル18枚・石鹸28個、土井壽美子: 抹茶・菓子(ウィズカフェ用)、匿名: 絵画1点、西地区保護司会: Boxティッシュ20箱、広島安芸地区更生保護女性会: 給食材料(写真⑥)、木井直: 漬物1袋、宇恵一: 現金10,000円、住吉神社: 鯛1尾ほか

南地区更生保護女性会: 現金120,000円(愛のたより)、西地区更生保護女性会: 現金210,000円(愛のたより)、安佐南地区更生保護女性会: 現金115,000円(愛のたより)、安佐北地区更生保護女性会: 現金100,000円(愛のたより)、広島佐伯地区更生保護女性会: 現金100,000円(愛のたより)、広島安芸地区更生保護女性会: 現金120,000円(愛のたより)、佐藤丈倫: おはぎ60個(ウイ

10月

安佐北地区更生保護女性会: 現金10,000円、平口さとみ: もみじまんじゅう1箱(ウィズカフェ用)、土井壽美子: 抹茶・菓子(ウィズカフェ用)、中地区更生保護女性会: 給食材料(写真⑪)、森山博行: ヘルストロン1台、広島紅葉ライオンズクラブ: 毛布4枚・作業ズボン5本・タオル30枚、匿名: 女性衣類6点ほか

9月

匿名: 女性衣類18点、一般財団法人多



⑥メニューは焼肉、サラダ、南蛮漬け、白和え等作られた広島安芸地区更生保護女性会のみなさん ⑦本年度は女性居宅棟増設資金として指定寄付された、一般財団法人多山報恩会中丸理事長に法務大臣感謝状を伝達 ⑧広島紅葉ライオンズクラブ創設35周年記念事業としてテレビ・炊飯器等のご寄付 ⑨広島市内の地区更生保護女性会から届けられた愛のたより(ご寄付) ⑩広島佐伯地区更生保護女性会の給食活動。メニューはバラ寿司、豚肉のしょうが焼き、筑前煮等

利用者につながります。

11月

島山昭雄：現金10,000円、大野宣江：米45kg、東広島地区福富支部更生保護女性会：手作り味噌5kg・白菜1株・さつまいも4個・里芋500g・玉ねぎ5kg・柿27個・ししとう1.5kg・金時人参5本ほか、山田勘一：現金20,000円・靴3点、平口さとみ：チョコレート3箱・飴1袋（ウィズカフェ用）、匿名：菓子9袋、匿名：女性衣類10点ほか、東広島地区更生保護女性会：蓮根5kg・柿12個・女性衣類29点、河井基美代：敷布団3枚・衣類12点・帽子5点、匿名：現金20,000円、宇恵一枝：現金100,000円、安芸高田地区更生保護女性会：タオル9枚・布巾25枚・トイレトペーパーほか、大野宣江：米30kg、土井壽美子：抹茶・菓子（ウィズカフェ用）、佐藤丈倫：芋納豆4袋・焼き芋羊羹1箱（ウィズカフェ用）・ケチャップ2.1kg・菓子、齊藤雄彦：現金100,000円、豊島区保護司会：現金10,000円、新南陽地区更生保護女性会：現金30,000円・石鹸40個・タオル81枚・軍手12双ほか、匿名：書籍48冊、東地

区更生保護女性会：給食材料（写真⑫）、岩本郁子：じゃがいも49個・柿26個ほか、竹内明子：サラダ油1本・レモン25個ほか、新畑房子：水菜漬物2kg・しょう油漬け500g、山塚美智子他2名：タオル5枚・手編みセーター7点・ポーチほか、広島県更生保護女性連盟：靴7足・衣類10点・建水1点・蓋置1点ほか、匿名：男性衣類6点、匿名：衣類3点・靴下3足、匿名：靴3点、圓妙寺：みかん・レモン20kg

12月

広島県更生保護女性連盟：じゃがいも1.5kg・かぼちゃ7.5kg・米21kgほか、中地区三分会更生保護女性会：現金20,000円、西博：現金2,000円、嘉屋進：現金20,000円、山田勘一：現金50,000円、更生保護施設等支援協議会：洗濯洗剤2箱・とり五目おこわ12個・スープ96個・カレールー4箱ほか、広島紅葉ライオンズクラブ：靴3点・タオル43枚・シャンプー・コンディショナー各2点・洗濯洗剤6個・衣類13点・インスタントコーヒー3本ほか、(株)山工：インスタントコーヒー3本、

広島県更生保護女性連盟：現金500万円（女性棟増築用）、匿名：アイスキャンディ6箱、広島県更生保護女性連盟：湯呑茶碗28個・現金20,000円、仁井恭子：衣類27点・靴6足・汁缶詰ほか、佐藤丈倫：茶碗10客・和菓子ケーキ4ホール（ウィズカフェ用）、島山昭雄：現金10,000円、西地区保護司会協力組織部：衣類31点・洗濯洗剤6本・軍手48双・石鹸15個ほか、能美直哉：フリーズドライ味噌汁36個・磯自慢バラエティセット1箱、堀江洋治：切り餅24袋、宮地真里：みかん10kg、福山地区更生保護女性会：現金20,000円、幟建末子：クリスマスケーキ8ホール、広島県更生保護女性連盟：クリスマス会38名分、広島市地区更生保護女性会連絡協議会：クリスマスプレゼント50個、（写真⑬）広島駅弁当（株）：お節弁当40個（写真⑭）、平口さとみ：黒豆1.2kg・チョコレート2袋、藤原薩子：みかん10kg、匿名：からいも11kg、更生保護施設等支援協議会：牛乳6本・サンドイッチの具6パック・せり・きざみねぎ2パック・豆腐12個・炭酸飲料12本ほか



⑪中地区更生保護女性会給食活動 メニューは、豚肉のもみじ煮、ポテトサラダ、刺身等 ⑫東地区更生保護女性会のみなさんによる給食活動 メニューは、煮込みハンバーグ、サーモンと鯛のカルパッチョ、シチュー等 ⑬広島県更生保護女性連盟及び広島市地区更生保護女性連盟の皆さんによるクリスマス会 はじめのご挨拶をされる幟建会長 ⑭広島駅弁当(株)様から届けられたお節弁当

みなさまの会費が、ウィズ広島利用者を支えます。



ウィズ広島賛助会で挨拶される迫谷会長

ウィズを出て〇〇に帰るときは辛かったです。A先生がバスセンターまで見送ってくださったこと、今でも思い出します。バスの中で涙が止まりませんでした。先生方に会いたいです。会えないのが…辛いです。一人でいると辛くて…寂しいです。

(退所者の手紙から)

2019(令和元)年度登録会員 **160** 会員

会費収入 **172万8,000**円

2019(令和元)年12月31日現在

2019(令和元)年6月1日から12月31日までの会費をお預かりした状況をご報告し、お礼を申し上げます。

ウィズ広島賛助会会長 **迫谷 富三**

【個人会員】

織建末子、平岡果代子、大庭操子、原田慧子、藤原哲子、吉川水貴、間所 了、松浦和子、曾川恵二、迫谷富三、迫谷浩司、反田哲顕、高藤邦彦、田中裕紀子、迫谷政則、野口真弓、宇恵一枝、田中武子、川后昭子、谷本知子、高浦里美、木元千鶴、森野敏章、竹内明子、西田志都枝、木村美代子、高羽千尋、山口裕子

【企業会員】

(株) 広島ゴルフショップ、(有) 田中剛産業、錦建設(株)、アイテレコムサービス(株)、(株) 大田鋳造所、(株) チューガイ、(株) 綜企画設計、三菱電機ビルテクノサービス(株)、(株) さこたに、

【更生保護女性会・保護司会会員】

広島安芸地区保護司会、安佐北地区更生保護女性会、安芸地区更生保護女性会、東広島地区保護司会、中地区保護司会、西地区更生保護女性会、三原地区更生保護女性会、三原地区保護司会、東広島地区更生保護女性会、広島佐伯地区更生保護女性会、府中地区更生保護女性会、庄原地区保護司会、南地区更生保護女性会、庄原地区更生保護女性会、東地区保護司会、福山地区更生保護女性会、三次地区保護司会、大竹地区更生保護女性会、東地区更生保護女性会、安佐北地区保護司会、安芸地区保護司会、呉地区更生保護女性会、安芸高田地区更生保護女性会、福山地区保護司会、福山地区更生保護協会、府中地区保護司会、安芸高田地区保護司会、大竹地区保護司会、三次地区更生保護女性会

■ウィズ広島賛助会役員

【会長】迫谷富三 【副会長】林 千秋、反田哲顕 【理事】先小山英夫、深堀 勝、宇恵一枝、曾川恵二
【監事】堀江洋治、山本隆照

以 上